



光明の学び

感染拡大を防ぐために、学校と学園生の御家族が心を一つにして、できる事を積み重ねながら、クラスター等を校内発生させることなく学期末に至り、「光明学園卒業式」を無事に挙行することができました。皆様の御協力に深く感謝申し上げます。

祝：小・中学部卒業&進学おめでとう！！

6年間、3年間の学業を修め終えて進学する小・中学部卒業生の皆さん、体力を養い健康を維持しながら、学習を積み上げ、この大きな節目を迎えられたことを心から祝福します。卒業おめでとうございます！

祝：本校高等部卒業、両部門23名が飛び立つ！

3/19(金)、高等部3年間の学びを心と頭と体に修め終えた本校S部門20名、B部門3名の若者が、体育館に設けた厳かな式場に臨み、高等部卒業証書を手にして、新たなステージへと飛び立っていきました。前途は様々ですが、2つの母体校から伝統を受け継いだ学園生であることを一生の誇りとして、それぞれの世界で存分に活躍してほしいと願います。

宣言解除に伴う都立学校の対応

政府の宣言解除方針の公表を受けて、3/18深夜に、都教育庁対策本部長から各都立校長宛の通知が発出されました。ポイントは以下の通りです。

- ①基本的な感染対策の一層の徹底
 - ②三密回避・手洗い・咳エチケットとマスク着用
 - ③毎朝の検温と健康観察
 - ④30分に1回以上の換気、教室等の消毒
 - ⑤教室等における密集回避
 - ⑥部活動も含めた飛沫を生じさせない教育活動工夫
 - ⑦都県をまたぐ校外での教育活動の中止
 - ⑧家庭での予防策徹底と教職員自身の予防策徹底
 - ⑨新学期も含めた教育活動へのオンライン積極活用
- ※卒業・進級後の学校生活が円滑に始められますように、引き続き日々の予防対応をお願いします。

分教室・病院訪問学級で「讚える会」とは？

3/24(水)の午後に、そよ風分教室の特設会場を基点に、分教室で学ぶ小6生と中3生、病院訪問学級で学ぶ小6生の計3名を対象に、会場とベッドサイドを分身ロボットのオリヒメで結び「卒業を讚える会」を開催します。この「讚える会」は、分教室拠点独自の教育活動です。校長はモーニングの礼装で臨み、会場には国旗・校旗を掲げ、(コロナ禍でなければ)院長先生や医師・看護師等の医療チーム多数、卒業生と在校生の保護者も多数臨席される形です。つまりほぼ卒業式同様なのです。この「讚える会」は年度末の進級・卒業を前に、住所のある地域で以前通っていた小・中学校に転校手続きを終えられた入院生を対象としている活動です。病状や治療計画上の理由で入院が継続しているために学籍の戻った学校での卒業式に出席できない方を対象としています。そこで在籍校の校長先生と連絡を取り、御了解を得た上で、卒業証書を送っていただき、そよ風分教室会場で代行授与します。卒業証書を読み上げる際は、小学校長〇〇〇〇代読、光明学園校長△△△△と発声しています。

人生で一度だけの小(中)学校卒業式、もし参加できなくても、同等の経験を、人生の記憶の轍に刻んでほしいとの願いを込めています。

北棟の建築用防護フェンスに特設ギャラリー登場！

節目を前に、各部門・各部の学園生のアート作品の中から代表作品を7点展示中です。A棟から西棟に行く連絡口の横に設けています。ぜひ御覧ください。



校長 田村 康二郎